

# YOTSUBA の 風

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 学校通信 第13号 令和4年12月12日発行



## 国内グローバルリーダー(GL)研修【第5学年】

10月27日(木)～31日(月)の4泊5日の日程で、5学年の国内GL研修が行われました。海外への渡航条件や新型コロナウイルスの感染状況等を総合的に検討し、ミズーリ州スプリングフィールド市で行っていた研修地を九州に移して実施しました。国内GL研修は「日本の文化・歴史を世界に発信できるグローバルな視野を持った教養人の育成」を目標としています。

本校のグローバル教育の柱であった海外GL研修の目標である「世界で活躍できる教養人(グローバルリーダー)となる資質の育成」を、校内の探究的な活動(SDGs Workshop)と体験的な英語教育(Weblio SDGs online、Tokyo Global Gateway、スタディサプリ English)により、代替行事においても海外GL研修の目標を達成することを目指しています。

生徒の前向きな取組、第5学年の保護者の皆様のご理解とご協力、旅行社の尽力により、好天にも恵まれ、全行程を実施することができました。

日付	行 程	備 考
10/27	緋の郷——羽田空港——鹿児島空港——知覧特攻平和会館——ホテル	鹿児島泊
10/28	ホテル——屋久島島内研修——ホテル	個別研修 鹿児島泊
	ホテル——種子島島内研修——ホテル	
	ホテル——かんぱち養殖場——桜島火山研修——鹿児島水族館——ホテル	
10/29	ホテル——熊本城——柳川市内研修(お堀巡り)——ホテル	長崎泊
10/30	ホテル——長崎市内平和学習(平和公園・爆心地・原爆資料館等)——ホテル	長崎泊
10/31	ホテル——九十九島パールシーリゾート——長崎空港——羽田空港——緋の郷	クラス別研修
	ホテル——軍艦島ツアー——長崎空港——羽田空港——緋の郷	

よく知っているように思えた国内の魅力に、改めて気づきました。特に、長崎は日本の中でも特色ある街かもしれません。洋風な建物が立ち並んだ場所やいたるところにあった坂道、そして海の見える景色から異国情緒を感じ、魅力的な街だと思いました。また、平和学習で訪れた鹿児島の知覧特攻平和会館や長崎の平和公園と原爆資料館。それらは単純に平和を願うよりも前に、日本人として、その事実を知り、過去に思いを馳せるためにとても大切な場所のように思えました。今回の平和学習とは、過去に何があって、どんな人たちのお陰で今があるのかを知り、その延長線上に、今ある平和を祈ることが繋がるのだと学びました。

また、歴史を知ることの大切さも学びました。私は世界史や日本史の授業を受けていませんが、今を考えるうえで過去を知っておくことの必要性を所々で感じました。今回訪れたのは九州の街でしたが、どれも魅力的で、きっとまだ行ったことのない国内の街にも魅力的なところがあるのだろうと思うと、旅行は好きではありませんでしたが、もっといろいろな土地を見たいと思うようになりました。 青山真子



## 交通安全教室【全学年】

12月8日(木)、安全委員会主催の交通安全教室が「交通ルールの遵守、マナー向上の意識を高めること」、「自転車運転時のヘルメット着用の意識を高めること」を目的に行われました。各教室では、安全委員が中心となり、意識が低くなりやすい一時停止、並列走行、ヘルメットの着用について、話し合いを行い、交通安全への意識を高めました。また、四ツ葉生として「四ツ葉生らしいマナー」についても考えました。



## 大学見学【第4学年】

10月27日（木）、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大において、「大学での学びを知るとともに、どんなことが学べるのか、どんなことを学びたいかを考え、自分の将来の進路について考える契機とする」ことを目的として、大学見学を実施しました。東京大学と慶應義塾大学では、四ツ葉学園の卒業生が、早稲田大学では現役の大学生が、施設の案内や大学生活のこと、大学の良さなどについて、丁寧に話をしてくれました。

早稲田大学の見学ではガイドさんが一つ一つの学部や建物をわかりやすく紹介してくださり、今まで行ってきた大学の中で強く印象に残りました。東大とは違う良さがあり、一人一人の学生が個性的でした。また外国人も多く、有名な卒業生の紹介でも幅広いジャンルで活躍しており、自分のなりたいたいのを応援してくれる学校だと思いました。（男子）



## 予餞会【全学年】

12月9日（金）、6年生にこれまでの四ツ葉学園の思い出を振り返ってもらおうと共に、最後の生徒会行事として楽しい思い出を作ってもらい、四ツ葉生で良かったと感じてもらおうことを目的として、また、1月14日、15日に迫った大学入学共通テストや私大入試を控える6年生へのエールを在校生・教職員から送ることを目的として、生徒会が主催しました。開会行事の後、在校生の有志による出し物、生徒会企画（「9期生あるある紹介」「アンケートランキング発表」）、ビデオレター（大竹明代先生、飯島英子先生、近藤拓海先生）、スライドショー（平成29年度～令和4年度の行事を中心に）、四ツ葉学園応援団によるエール、6学年の先生の出し物と続きました。四ツ葉学園での最後の宿泊行事が2年次のアカデミックキャンプだった6年生へのサプライズプレゼントとして、PTAの6学年委員より「我武者羅応援団によるエール」とFOMAREの釜田凌我さん（四ツ葉学園1期生）からメッセージが送られました。生徒会が6年生のために寸暇を惜しんで準備した予餞会は、笑いあり、涙あり、感動ありと大いに盛り上がりました。

予餞会、最高に楽しかったです！！先生方の意外な一面が見えたり、元気をもらえる笑顔が見れたりして本当に嬉しかったです！先生方の一人一人との思い出が鮮明に蘇ってきて、四ツ葉に入学できて幸せだと心から思いました。留年はしたくないけど、卒業したくないです…。精神的に辛いこの時期に、楽しい時間と幸せな気持ちにしてください、ありがとうございました！明日からも頑張れそうです！

齊藤陽香

今日は予餞会を心から楽しめました。先生方や四ツ葉生からの応援を支えに共通テストに向けて一層頑張っていきたいです。高橋良輔

予餞会、凄く楽しかったです！本当にありがとうございました。後輩や先生方が私たちのためにすごく準備してくださって、嬉しかったと同時に、もう6年生なのか、もう卒業するのかと思いました。すごく短かった気もするし、すごく長かったような気もします。辛いことも楽しいことも沢山あって充実した6年間でした。本当にありがとうございました😊。まだあと数ヶ月あるのでよろしくお願い致します。齋藤胡桃

